



平成29年度 第2学期 始業式 2017/9/1

9月1日(金)に、本校体育館において第2学期始業式が行われました。

荻野校長が始業式で述べた式辞の一部を紹介します。

(前略)

さて、皆さんの「夢」探しはどうでしょうか。

今日も『夢』の続きです。1学期の始業式で宇宙ロケット開発の植松努氏の話をしたましたが、その後を追っているうちにもう一人皆さんに紹介したい人物を見つけました。

岩屋圭介(いわや けいすけ)さん、福島県郡山出身31歳の若き科学者です。彼の研究はゴム風船を使って宇宙の様子を撮影しようというものでした。ゴム風船と宇宙はなかなかつながりませんが。



今から6年前、2011年に北海道大学の学生であった彼は、海外のニュースで風船にカメラをつけて上空から地上の撮影に成功ということを目にして

(今ではドローンの登場で新鮮みがありませんが)、いっそのこと風船を宇宙まで飛ばしたいと考えたそうです。ただ前例がないため何の資料もなく学生ゆえ、資金は5,000円、材料は100円ショップや東急ハンズでそろえたそうです。

2011年10月、風船は風に流されたものの見事に地上の撮影に成功。

2012年9月高度30km(成層圏)からの宇宙撮影に成功。

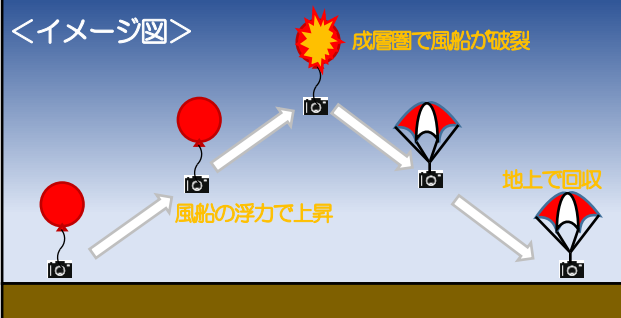
2013年9月高度48kmに到達、民間世界最高高度達成だそうです。

数々の写真や動画を発信し、見るものに感動を与えてきました。

この2017年、将来の風船の大型化、有人化に向けこれまで一つであった風船を二つにして安定を図るべく2連風船の実験に取り組み始めたということです。飽くなき探究心、更に世界唯一の研究を続けていくそうです。

ちなみに、風船の中身はヘリウムガス、上昇によって外気圧の低下により風船は数百倍にふくれあがり、限界で破裂、その後カメラなどはパラシュートにより減速して落下ということだそうです。

<イメージ図>



成層圏は空気も薄く、空気抵抗が極端に低いため、横方向の推進力をつければ、ものすごいスピードで移動可能です。有人化が成功すれば新しい移動手段として画期的な発明になっていくことでしょう。

彼の考え方の基本は「面白そう、やってみるから始めよう」だそうです。面白そうなもの、発見してください。前例がないから苦労はするけど達成感は、世界初の喜び。

どうですか、皆さんも、面白そう、やってみるから初めて見ませんか。

1学期終業式で、「先生方と皆さんが2学期以降の授業を素晴らしいものに改造して行かれることを期待します。」といいました。一つだけ付け加えます、素晴らしい授業にするためには授業時間だけでは効果は薄いものです。大切なことは、家庭学習です。部活動で疲れた体であっても、家庭で机に向かい、授業の予習復習をするという習慣が大切であるということは忘れないでください。

さて、2学期は文化祭をはじめとして、みんなで取り組む行事がたくさんあります。それぞれの行事に、自分たちの力を信じてチームで力を合わせてください。みんなで取り組むところには、人間関係等様々な困難に出会うかもしれません。心に違和感を感じたら、一人で抱え込まないで、周りの生徒や先生に相談してください。それでは、皆さんの2学期の活躍に期待します。



式辞を述べる
荻野校長